

## 肥後銀行・熊本銀行包括連携

株式会社熊本銀行と包括連携協定を締結

町と株式会社熊本銀行が、3月8日に包括連携協定を締結しました。この協定は、町と株式会社熊本銀行が、時勢に応じた地域の政策課題を共有し、それぞれの資源や機能などの活用を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、地域の振興及び発展に寄与することを目的としています。株式会社熊本銀行の野村俊巳取締役頭取は、「連携の円滑な推進を図るため、町と定期的に協議を行いながら、地域社会の発展に貢献したい」と述べました。



金田町長と熊本銀行 野村取締役頭取

株式会社肥後銀行と包括連携協定を締結

町と株式会社肥後銀行が、3月8日に包括連携協定を締結しました。この協定は、町と株式会社肥後銀行が、地域環境の変化による課題を共有し、幅広い分野で相互に協力することで、働く人、住む人が生涯を通じて快適に暮らせる魅力的なまちづくりに寄与することを目的としています。株式会社肥後銀行の池田誠取締役常務執行役員は、「相互の人的知的資源を最大限に活用し、地域金融機関として魅力あるまちづくりの実現と一緒に取り組んでいきたい」と述べました。



金田町長と肥後銀行 池田取締役常務執行役員

## 大規模災害時に駐車場などの提供

災害時等での施設利用の協力に関する協定締結

町と(株)ダイナム(東京都)は「災害時等での施設利用の協力に関する協定」の締結式を2月15日に行いました。この協定は、地震などの大規模災害時において、町の要請により自家用車などによる避難者への駐車場を一時的な避難所として提供することと設備が使用可能な場合の避難者へのトイレや水道施設の提供となっています。全国で149店舗目、県内で5店舗目となりました。



金田町長、ダイナム熊本大津 山本 祥平店長

## 物流で半導体事業の活性化に

一宮運輸株式会社との立地協定

一般貨物自動車運送事業・倉庫業を展開する「一宮運輸株式会社(愛媛県)が、大津町では2拠点目となる物流拠点を大津町に新たに新設することとなりました。熊本県商工労働部の三輪孝之部長立ち合いのもと、町と立地協定を2月17日に締結しました。同社増田幸徳代表取締役社長執行役員は、「半導体需要が伸びている中、長年化学薬品・保管・輸送業務において培った経験・実績を半導体事業に物流という立場でサービスを提供し、大津町の経済発展に貢献したい」と話しました。

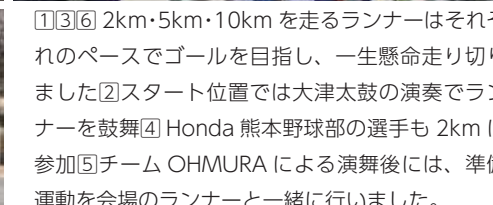


熊本県商工労働部 三輪部長、一宮運輸(株) 増田代表取締役社長執行役員、金田町長



## ジョギング楽しみ健康増進 第24回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル

「第24回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル」が2月26日に4年ぶりに町運動公園で開催されました。当日は1歳から81歳までの約530人とホンダ熊本硬式野球部の選手が参加し、それぞれ2km、5km、10kmのコースを自分のペースで走り、爽やかな汗を流していました。また、当日はチームOHMURAのエアロビ演技や大津太鼓の演奏により大会を盛り上げていただきました。



①③⑥ 2km・5km・10kmを走るランナーはそれぞれのペースでゴールを目指し、一生懸命走り切りました②スタート位置では大津太鼓の演奏でランナーを鼓舞④ Honda 熊本野球部の選手も 2km に参加⑤チーム OHMURA による演舞後には、準備運動を会場のランナーと一緒にしました。

## 新シーズンに向け大津で準備

北海道コンサドーレ札幌 大津町キャンプ

昨年度に引き続き、J1リーグに属するプロサッカーチーム「北海道コンサドーレ札幌」が、町運動公園で2月8日から3月9日までキャンプを行いました。2月8日に歓迎セレモニーが行われ、町からからいもとオレンジジュース、宿泊先のアポートホテルからメロンが贈られチームを激励しました。チームはミハイロ・ペトロヴィッチ監督を含め選手とスタッフの約50人が町内のホテルに宿泊されました。



北海道コンサドーレ札幌の皆さんと一緒に記念撮影

## 高齢者の見守り活動に新たな仲間

日本生命保険相互会社熊本支社との見守り協定

地域の安全確保に向けて、日本生命保険相互会社熊本支社と町が「大津町高齢者等見守りネットワーク事業」に関する協定を2月14日に締結しました。日本生命保険相互会社は、各地方自治体と連携しながら「健康増進」や「安心な長寿社会づくり」などの社会貢献活動に取り組んでいます。今回の協定締結によって、町と連携・協力しながら高齢者などの異変の早期発見と必要な支援につなげる活動を実施します。



日本生命保険相互会社熊本支社と協定書を取り交わしました